



Guts!通信



横浜市会議員(戸塚区選出)
坂本勝司 市政報告 2024年11月号
発行責任者: 坂本勝司事務所

★戸塚のために★ 横浜市会議員 坂本勝司



<<第50回衆議院議員選挙報告 国民民主党躍進!!>>

神奈川県選挙区18区(川崎市中原区・川崎市高津区)から立候補の西岡よしたか(52,596票)、19区(川崎市宮前区・横浜市都筑区)から立候補の深作ヘスス(50,578票)、小選挙区では惜敗も南関東ブロック(神奈川県、千葉県、山梨県)にて比例当選をさせて頂きました。

これから皆様のご期待に応えるべく、国政にて結果を求めて活動して参りますので、引き続き、国民民主党への力強いご支援をよろしくお願ひ致します。

18区(川崎市中原区・川崎市高津区)
西岡よしたか(52,596票)



19区(川崎市宮前区・横浜市都筑区)
深作ヘスス(50,578票)



国民民主党、前進 政策実現に向けて

国民民主党は11月11日、自民党との党首会談を実施。令和6年度の経済対策および補正予算に関する要望を要望しました。



令和6年度経済対策および補正予算に関する要望

2024年11月11日時点

①災害対策

- (1)能登半島地震、豪雨災害の復旧・復興
 - ①道路の早期復旧
 - ②災害公営住宅の用地費、造成費(災害救助法対象外)
 - ③国定公園内被災施設の復旧費への災害対応特例適用
- (2)防災・減災対応
避難所となる全国の体育館へのエアコン設置・ランニングコスト支援(設置率22.1%・9月1日現在)

②103万円の壁対策

- ①所得税の基礎控除等を103万円から178万円に引き上げ
- ②特定扶養控除の年収要件の引き上げ

③エネルギー対策

- ①ガソリン減税によるガソリン代引下げ及び航空機燃料支援
- ②電気代(再エネ賦課金一時徴収停止)・ガス代等の引下げ

坂本勝司活動アルバム

地域で見かけましたら是非お声掛け下さい!



※ 地域改善活動: 道路の整備・改善、急傾斜地対策、住宅問題、河川環境、草除去 等々 地域のご相談は坂本事務所まで!

お問い合わせ: 坂本事務所 045-869-0702まで



横浜市会決算特別委員会連合審査会質疑(抜粋)

10月2日(水)、市会第3回定例会決算特別審査連合審査会にて、会派を代表して、山中市長ほか市幹部に対して本市の課題に対して質問させて頂きました。抜粋となりますが、ご報告いたします。

■横浜の動物園

Q:動物園における暑さ対策の取り組み、園内移動・見学手段の工夫について

《みどり環境局長答弁》

本市の3動物園では、毎年8月の土日祝日に「よこはま夜の動物園」を開催し、多くの市民の皆様に御好評をいただいている。また、昼間の園内の暑さ対策として、スポットクーラーやミスト、日よけなどを設置して、利用しやすい環境づくりを進めている。引き続き、ソフト・ハードの両面から工夫を続けていく。



Q:他機関との連携について

《平原副市長答弁》

ズーラシアでは、海外や国内の動物園とのネットワークにて、「種の保存」に向けた動物交換をしている。金沢動物園では、環境省や大学と連携した希少種保全の取組を進めている。また、野毛山動物園では、は虫類の飼育・繁殖技術を持つ飼育員が海外から招へいされるなど、世界の動物園と連携している。今後とも他機関との連携を進め、動物園の役割をしっかりと果していきたい。



■上瀬谷の海軍道路における桜再生計画の情報発信

Q:「上瀬谷の海軍道路における桜再生計画については市民の理解不足。市民の方々へ広く周知すべき」

《市長答弁》

令和4年度に作成した「新たな桜の名所づくりに向けた基本計画」については、地域の皆様や市民公募による懇談会における継続的な検討や、周辺地域への説明、市民意見募集などを丁寧に行いながら、取りまとめたもの。この度、海軍道路の桜の植え替えや、新たな公園への桜の植樹を行うなど、取組が本格化していく。地域の皆様への丁寧な説明や、ホームページなど様々な媒体を活用して、しっかりと周知を図っていく。



■高速鉄道3号線延伸事業について(あざみ野駅～新百合ヶ丘駅)

Q:現在までの交通局の取組状況について(2030年開通目標)

《交通局長答弁》

平成31年1月の事業化判断以降、毎年度、予算を計上し、調査、設計を始めた。

令和2年1月には、概略のルート及び駅の位置を選定し、計画段階で必要な環境影響評価の手続きや地質の調査、設計の深度化に取組、関係機関との協議、調整を行っている。



Q:今後の事業の見通しについて

《平原答弁》

昨今の物価高騰、それからコロナの影響により鉄道需要の減少という状況。これは3号線延伸の事業化を判断した当時では想定していなかった課題に今、ぶつかっている。その対応をどうしようかということで検討に時間を要しているが、交通政策審議会の答申の目標年次は、令和12年開業目標ということで設定している。ただ、先ほど申し上げましたように、事業を取り巻く環境は大変厳しい状況となっており、コスト削減、あるいはご紹介があったまちづくりとの連携によって需要を創出していく。

■市長公舎

Q:公舎所有は横浜市と広島市のみ。本市における公舎の必要性について、市長公舎の利用状況について

《政策経営局長答弁》

今年度は、4月から9月までの6か月間で10件の利用。各国の大使をはじめとした海外の要人をお迎えした。なお、昨年度1年間の利用件数は8件。



Q:「厳しい財政状況を踏まえ、市長公舎の今後の在り方を検討すべき」

《市長答弁》

市長公舎は御指摘のとおり、万が一、市庁舎が機能しなくなった場合のような不測の事態の際、市対策本部の代替機能を有するものであり、また、市長公舎での迎賓や式典が、海外要人などへの自治体外交としての“おもてなし”的場として、横浜市のイメージの向上に大きく寄与してきている。そのようなことから、今後も適切に維持並びに活用していく必要があると考えている。



坂本勝司を支援する会 今後の予定

★2025年1月26日(日)

成田山詣り＆小江戸佐原散策 詳細は近日ご案内！

